

タブレットを活用した日本紹介までの一連の活動と学習評価
(SUNSHINE ENGLISH COURSE 3 PROGRAM 4
「Sign Languages, Not Just Gestures!」)

①話・発

②個・表

②評価

③タブ

③TV

【ここがポイント！】

④ミライシード

- ①「ミライシード(オクリンク)を活用してペアに紹介動画を送信・相互評価」
紹介文動画を作成するための情報や写真などを集め、ミライシードを活用して、紹介文動画を作成する。何度も練習した紹介文動画を、ペアに送り合う。ペアで送り合った動画を相互評価することで、より良い紹介動画の作成を目指すことができる。
- ②「ミライシードと Google フォームやスプレッドシートの活用」
ミライシードの動画機能を効果的に活用し、何度も練習を繰り返すことで言語活動の量が増える。単元末には、Google フォームを活用し、振り返りを行い、スプレッドシートを活用することで、生徒の振り返りの共有を図ることができる。

【実践の目標】

ALTに、紹介したい日本のものについて、そのよさや楽しさが分かってもらえるように紹介する。

【実際の場面】

1. ALTに紹介したい日本のものについて考え、まとまりのある紹介文を作成する

日本の伝統的なものや、一見ただけでは外国人にとってどんな使われ方をするのか分からない日本のものについて、紹介文とその写真や絵を準備した。

2. ALTからのビデオメッセージを聞く

ALTのビデオメッセージを聞くことで、生徒たちのモチベーションをあげることができた。



3. タブレットを活用して、紹介文動画を作成し、ペアに送る

ミライシードソフトを使うことで、簡単にペアに動画を送ることができた。

4. 紹介文の動画を見て相互評価を行う

前時までに練習した紹介文動画を、さらにより良いものにするために、ペアからアドバイスをもらった。

5. 繰り返し練習を行い、繰り返し撮影する

ペアからのアドバイス等を基に、改善するための練習を行い、動画と原稿を何度も見直しなが繰り返し撮影した。

6. ALTにみてもらう紹介動画を提出する

何度も撮影した後、提出する前に自分で視聴した上で、一番良い紹介動画をミライシードに提出した。

7. 評価を行う

生徒は、最初の動画と比べて良くなった点や工夫、改善された理由を振り返りシートに記入した。後日、紹介文動画をALTに視聴してもらい、ALTと指導者が評価を行った。その評価を生徒にフィードバックし、次の学習活動につなげることができた。

【成果と課題】

【成果】

- 生徒たちは、ALTに伝えるという相手意識を十分をもって、紹介文や紹介動画を作成することができるようになった。
- 紹介文動画をペアに送り、互いに客観的に評価してもらうことで、よりよい発表を目指すための意欲付けとなった。
- タブレットを活用することで、生徒の英語による言語活動の量が増え、言語活動を充実させることができた。

【課題】

- 生徒一人一人が言語活動の質の向上を図るために、さらに細かなルーブリックを作成していく必要がある。
- 生徒一人一人に対して、正確な発音やイントネーション等の知識・技能を身に付ける学習活動を行う必要がある。

坂町立坂中学校

